

84

## 榛原総合病院の存続 ②

### 来春の民営化について最終協議

平成21年12月1日付け中日新聞の朝刊に、大見出しで「来春の民営化で調整」、中見出しで「榛原総合病院 徳州会傘下で存続へ」の文字が躍っていました。

今年の『広報よしだ』の町長からのメッセージは、5月号で「榛原総合病院と町の財政」、7月号で「榛原総合病院の存続」と題して町民の皆さまに榛原総合病院（以後、榛原病院）の置かれた状況をお伝えしました。そして、この12月号でようやく榛原病院の存続について明るい見通しをお届することができたまでになりました。

昨年11月の循環器科の医師の引き揚げに端を発した榛原病院の経営管理の問題は、メダルの表裏の關係にあった財政の問題を同時に表面化させました。平成13年度末（平成14年3月末）に14億円あった積立金は平

成18年度末（平成19年3月末）にゼロとなり、平成19年度からは牧之原市と吉田町の貸付金や基準外の財政支援で何とかしのいできましたが、両市町の負担は年々増え続け、財政支援は限界に近づいていました。正直なところ、榛原病院の問題は、榛原病院の存続か、あるいは牧之原市や吉田町の生き残りか、といった難しい局面を迎えるまでになっていました。

榛原病院の存続に見通しがほぼついたからといって、榛原病院がこれまで地域に提供してきた医療のレベルに直ちに戻る訳ではありません。徳州会による民営化が始まったとしても、榛原病院がこの地域の基幹病院として復活するまでには、かなりの時間がかかると思われます。私は町民の皆さまと一緒に、榛原病院を今後、どのように育てていくのかじっくり腰を据えて考えたいと思います。

### 榛原病院の財政負担

左の頁の表をご覧ください。榛原病院への繰出金および短期貸付金の推移を示していますが、この表には書かれていませんが、民営化が来春の3月1日、あるいは4月1日になった場合、2カ月分、あるいは3カ月の人件費などの追加支援が必要となり、改めて補正予算を組むことになります。

### 吉田町にとって榛原病院とは

『広報よしだ』5月号の町長からのメッセージは、『……状況を見ますと、医師の確保による医療収益の増

町みなさん、お元気ですか。



の1年というものは、吉田町にとって榛原病院の意味をぎりぎり考える1年でもありました。榛原病院は、吉田町にとってまさに町民の皆さまの命を守る二次救急の砦以外の何物でもないのです。まさに、町民の皆さまの命を託す最後の砦を、財政の許すぎりぎりの局面で持ちこたえることができる状況を迎えられたことを心の底から喜んでいきます。

もはや後がない来春の民営化に向けて、榛原病院管理者である牧之原市長をバックアップすべく改めて気を引き締めて最終の詰めに臨みたいと思います。

## 榛原総合病院への繰出金および短期貸付金

(単位：千円)

年度	平成19年度 (決算)		平成20年度 (決算)		平成21年度 (12月現計予算)		
	市町 項目	牧之原市 (68.835%)	吉田町 (31.165%)	牧之原市 (68.635%)	吉田町 (31.365%)	牧之原市 (68.435%)	吉田町 (31.565%)
基準内		721,227	326,533	727,313	332,369	692,692	319,498
基準外		318,018	143,982	373,374	170,626	294,271	135,730
追加補正		—	—	274,540	125,460	875,989	404,041
計		1,039,245	470,515	1,375,227	628,455	1,862,952	859,269
市町計		1,509,760		2,003,682		2,722,221	
短期貸付金		—	—	760,000	340,000	760,000	340,000
合計		1,039,245	470,515	2,135,227	968,455	2,622,952	1,199,269
市町合計		1,509,760		3,103,682		3,822,221	

(参考)

## 平成21年度追加補正額

牧之原市		吉田町	
9月	337,620,000円	9月	155,724,000円
12月	538,368,564円	12月	248,317,436円
合計	875,988,564円	合計	404,041,436円

